

2018年9月14日

東日本旅客鉄道株式会社

## 新幹線逸脱防止対策の追加整備について

- JR 東日本では、新幹線の地震対策として、地震時に早期に列車を止める対策、構造物等の耐震補強対策、列車の線路からの逸脱を防止する対策を柱として取り組んでいます。このうち、逸脱防止対策としてはすべての新幹線車両へのL型車両ガイドの設置が完了し、現在レール転倒防止装置の整備を進めています。
- レール転倒防止装置はこれまでスラブ軌道、バラスト軌道を対象に設置を進めてきました。これまで設置できない区間であった特殊な線路構造区間(弾性まくらぎ直結軌道区間)について、新たに設置可能な装置を開発いたしましたので、今後敷設エリアを拡大いたします。

### 1. 新たに開発した装置の概要(弾性まくらぎ直結軌道用レール転倒防止装置)

既存のレール締結装置(写真2)には、レール締結機能(レールを固定する機能)のみであったが、新たにレール転倒防止機能を追加した装置(写真3)に交換することにより、レール転倒防止機能を追加します。



写真1 弾性まくらぎ直結軌道

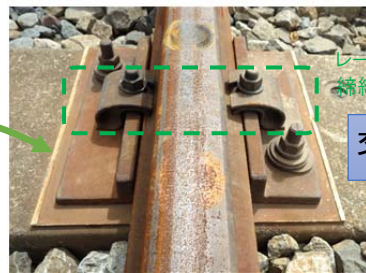


写真2 既存のレール締結装置

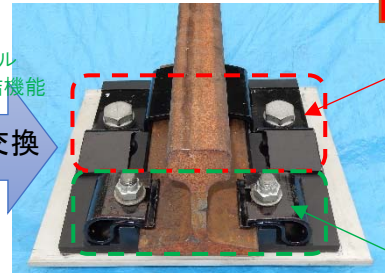


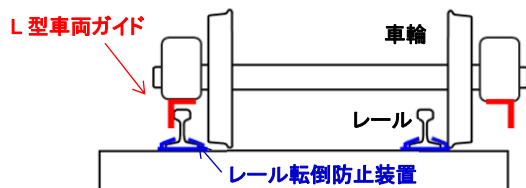
写真3 新たに開発した装置

機能追加

レール  
転倒防止  
機能

レール  
締結機能

交換



※ L型車両ガイドがレールに当たること  
で車輪が線路から逸脱することを防止

新幹線逸脱防止対策の概要

### 2. 今後のレール転倒防止装置の整備計画

既に整備を計画しているスラブ軌道、バラスト軌道に加え、弾性まくらぎ直結軌道への整備を開始し、2029年度を目途に整備を完了する予定です。

路線名	区間	線路延長 (km)	計画延長(km)				合計	
			スラブ軌道		バラスト軌道			弾性まくらぎ 直結軌道
			うち整備済	うち整備済	うち整備済	うち整備済		
東北	東京～新青森	1,352	967	533	80	4	35	1,082
上越	大宮～新潟	539	484	177	23	1	23	530
北陸	高崎～上越妙高	352	103	103	—	—	—	103
合計		2,243	1,554	813	103	5	58	1,715

※ 整備済延長は  
2017年度末時点